

木簡が語る古代日本の実像

講師 横浜市歴史博物館館長・東京大学名誉教授 佐藤信 先生

講演要旨

1961年に平城宮跡で初めて発見された日本の木簡は、今では全国で50万点が出土し、古代史に欠かせない史料となっている。文書主義の律令制のもと、紙の文書とともに、木の札に墨書した木簡は日常の文書、貢進物の荷札や習書のために多く用いられた。国家的に編纂されて中央・貴族中心の制度的な文献史料に対して、木簡はその時々にかかれ機能した日常・地方の社会的実態を示す出土文字資料である。木簡によって古代日本の実像がどのように明らかになってきたか、木簡研究の多様な成果を展望したい。

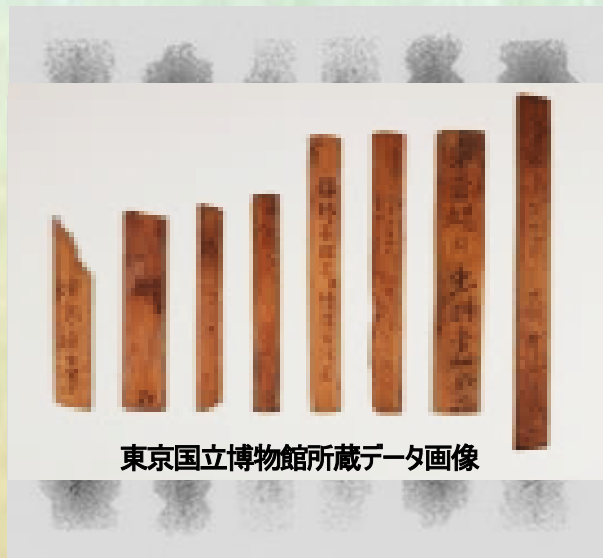


【講師プロフィール】

1978年東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。博士(文学)。日本古代史、文化財学専攻。1979年奈良国立文化財研究所研究員、1985年文化庁、文化財調査官、1989年聖心女子大学助教授、1992年東京大学文学部助教授、1996年東京大学大学院人文社会系研究科教授、2018年東京大学名誉教授。人間文化研究機構理事(2020年迄)、2021年横浜市歴史博物館館長、くまもと文学・歴史館館長。

【主な著書】

『日本古代の宮都と木簡』(吉川弘文館、1997年)『出土史料の古代史』(東京大学出版会、2002年)『古代の地方官衙と社会』(山川出版社、2007年)『古代史講義』(ちくま新書)(編著。筑摩書房、2018年)『日本古代の歴史6 列島の古代』(吉川弘文館、2019年)など



東京国立博物館所蔵データ画像

- | | |
|--------|--|
| 【日 時】 | 2023年7月30日(日) 午後2時～午後4時 (受付は午後1時30分より) |
| 【会 場】 | 横浜市歴史博物館 講堂 市営地下鉄 センター北駅 下車徒歩5分 |
| 【募集人数】 | 170名 |
| 【参加費】 | 800円 |
| 【申込方法】 | 往復はがき(一人一通)
①講座名 ②〒住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤どこで開催を知ったかを明記の上、下記へお申し込み下さい。 |
| 【送り先】 | 〒223-0066 横浜市港北区高田西3-15-11
横浜歴博もりあげ隊事務局 宛 |
| 【申込締切】 | 2023年7月18日(火) (当日必着) |
| 【問合せ先】 | 横浜歴博もりあげ隊事務局 TEL080-4896-4677 (7月1日より使用可9:00~17:00) |

横浜歴博もりあげ隊ホームページ <https://sites.google.com/site/moriage20/>

